

2020.6.15

須磨学園高等学校・中学校

## 須磨学園のインターネット授業配信 3.0 方針

### 【学校方針】

「学校の学びを止めない」という方針のもと、須磨学園は各学年のインターネット放送局を通して、日々インターネット授業の配信を続けてきた。長期的な視野で分析・検討を重ねてきた従来のインターネット授業配信 1.0 を改訂し、インターネット授業配信 1.1 を実現した。さらに社会情勢の変化、およびインターネット授業配信に関する生徒アンケートの結果分析をもとに、インターネット授業と実際の登校を前提とする諸活動を組み合わせた Hybrid 型の方針である「インターネット授業配信 2.0」を確立した。これにより我々は、生徒にとってさらに有益な授業配信を追求するとともに、生徒たちが実際に登校して、「学校」本来の魅力を存分に体感することができる活動機会の提供を実現した。

社会は緊急事態宣言の解除によって、企業・店舗の営業活動再開や教育機関の休校や分散登校の解除など、「再開」に向けた方向に大きく舵が切れようとしている。一方で、第 2 波とも第 3 波とも呼ばれる新型コロナウイルスによる感染症の再拡大が報告されている地域が出ていることもまぎれもない現実である。

この状況を受けて須磨学園は、「インターネット授業配信 2.0」の基盤から登校率を大幅に引き上げ、80%登校を前提とする一方で、オンライン授業の形態を 20%保持する強化 Hybrid 型の新方針である「インターネット授業配信 3.0」の発動(6/22～)を決定した。この方針を確立することにより、状況に応じていつでも 2.0 と 3.0 を切り換える仕組み、すなわち登校とインターネット授業の比率を社会情勢に応じて柔軟に調節し、常に生徒にとって最適な授業提供の形態を選択することのできる仕組みを構築し、「再開」と「警戒」の高次元の両立を実現する。以下に「インターネット授業配信 3.0」のガイドラインを記す。

### 記

#### 【インターネット授業配信 3.0 ガイドライン】

1. 週の登校とオンライン授業の比率を 8：2 とする。引き続きインターネット授業と登校それぞれの有益性を活かす形を追求し、感染症予防と学校活動を高い次元で両立させる。登校に関する詳細については、本校教務部および各学年が別途発表する。

2. ①各放送局(学年)へのタブレット端末の追加配備、②必要に応じて各授業担当者への高性能マイク、スピーカー、Web カメラなど必要備品の追加配備、③要望のあった家庭への HDMI ケーブル手配によるテレビ画面を通してのインターネット授業視聴の実現、を実行する。
  
3. 「電子教科書」を導入し、生徒が制スマホや制パソコンを通して、電子化された教科書をインターネット上で場所や時間を問わず利用することができる体制を構築する。このシステムを通して生徒は教科書そのものを持ち運ぶことなく授業に臨むことができるなど、教材利用においても「ハイブリッド」化を実現し、使用効率を飛躍的に向上させる。使用に関する詳細については、本校マルチメディア部が別途発表する。

以上

【須磨学園のインターネット授業配信方針の変遷】

[登校率]

100%	(インターネット授業配信の体制維持)
80%	<p><b>インターネット授業配信 3.0 (2020. 6. 22～)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登校率を 80%まで引き上げるとともに、社会情勢に応じて柔軟に比率を切り換える体制を確立</li> <li>・高性能な配信用ツールの追加導入による授業配信の精度向上</li> <li>・「電子教科書」の導入による教材利用の効率化</li> </ul>
60%	<p><b>インターネット授業配信 2.0 (2020. 5. 25～)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット授業と登校のハイブリッド化</li> </ul>
40%	<p>(登校率の段階的引き上げ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の在宅授業配信体制の確立</li> </ul>
20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マルチメディア部による授業配信の精度向上サポート</li> </ul>
0%	<p><b>インターネット授業配信 1.1 (2020. 4. 30～)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業配信の基幹ツールとして「Zoom」を一元採用 ⇒全放送局(学年)で「双方向」授業の確立</li> <li>・オンライン自習室、オンライン特別講座、オンライン個人面談の実施</li> </ul> <p><b>インターネット授業配信 1.0 (2020. 4. 6～)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット放送局の設立</li> <li>・授業配信ツールとしての 5 ツール使用</li> </ul>